

MVS08 計測ソフト 更新のご案内

【PC アプリケーション / ファームウェア : Ver1.0.0.36】


この度、金型内計測システム モールドマーチャリングシステム 射出成形監視システム「MVS08」のソフトウェアアップデートを行いました。以下、ダウンロード・アップデート方法と変更箇所を記載します。

■ダウンロード方法

1. 以下リンクより金型内計測システム専用サイトにアクセスして下さい。
<https://mms.mtb.futaba.co.jp/>
2. 金型内計測システム専用サイト右上の「資料ダウンロード」→「ソフトウェア(お客様情報ご入力)」の手順で進んでください。
3. MVS08 計測ソフトウェア 1.0.0.36 の ZIP をダウンロードし解凍、デスクトップに配置して下さい。

■ファームウェア アップデート方法

1. 上記「ダウンロード方法」にてダウンロードして頂きましたフォルダを開き、ソフトウェアを起動して下さい。

計測ソフトウェア :  MVS08.exe

2. PC と MVS08 の接続を確立して下さい。※接続方法に関しましては取扱説明書を参照ください。
3. 画面計測ソフトウェア左上の「システム」→「ファームウェアの更新」を選択して下さい。
4. 最新版ファームウェアファイルを確認、選択し、「ファームウェア更新」をクリックして下さい。

以上にて、アップデート完了し最新機能をご使用頂けます。

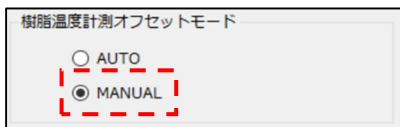
■変更内容

変更点.1 樹脂温度計測オフセットモード(IR OFFSET)を追加

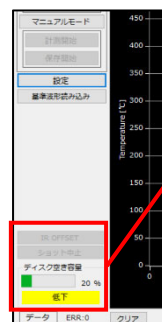
従来	変更後
樹脂温度中継アンプ UPI01 を使用した樹脂温度計測のオフセットタイミングは、ショット開始時のみでした。	従来の動作である「AUTO」モードに加えて、任意のタイミングに手動でオフセットが行える「MANUAL」モードを追加しました。 モードは「設定」より切替可能です。 これにより手動で実施したオフセットを保持したまま、以降の計測を行えるようになります。

【詳細画面】

「設定」より、「樹脂温度計測オフセットモード」を MANUAL 設定に変更します。



計測画面左下



「IR OFFSET」を選択



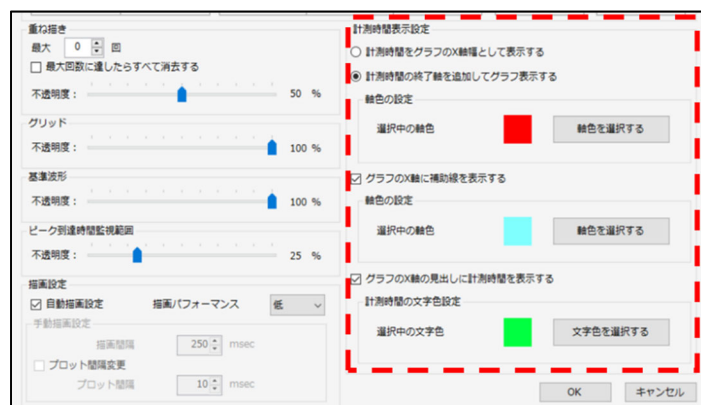
変更点.2 計測時間の最小単位を 1s から 10ms に変更

従来	変更後
計測時間の最小単位は 1s でした。	計測時間の最小単位が 10ms となりました。

変更点.3 表示設定に計測時間表示設定を追加

従来	変更後
表示設定にグラフの軸や色を変更する機能はありませんでした。	左上の「システム」→「表示設定」より、計測時間をグラフの X 軸幅として表示または計測時間の終了軸を追加して表示するか選択でき、X 軸に補助線、X 軸の見出しに計測時間を表示できるようになりました。またそれぞれの色を変更できるようになりました。

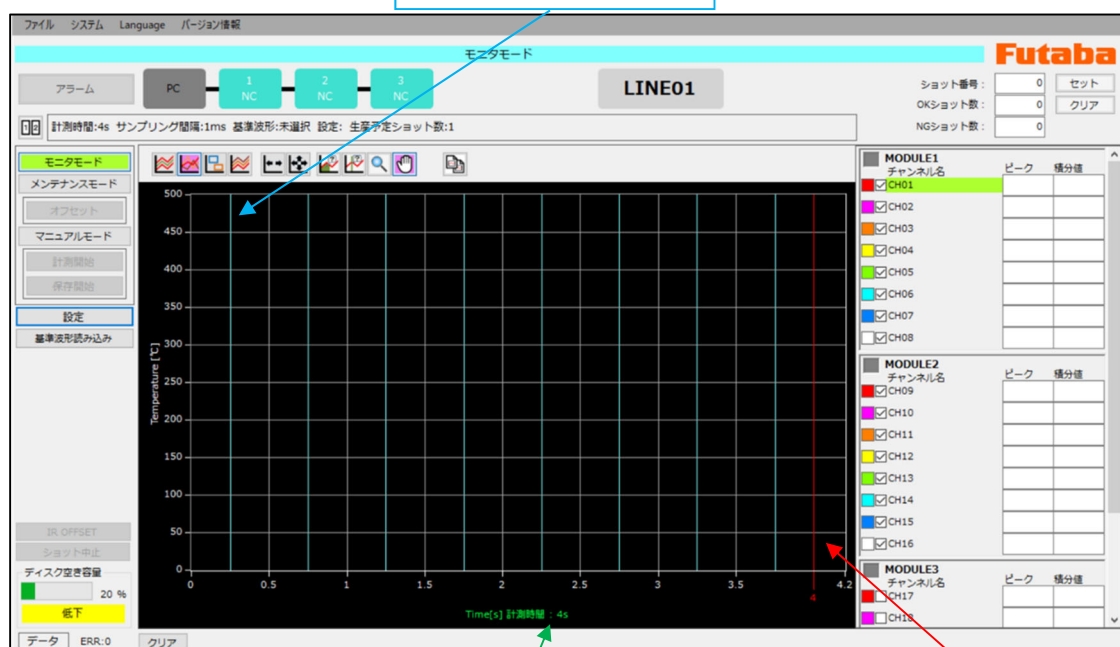
【詳細画面】



- 計測時間の終了軸を追加してグラフ表示する
→グラフ端に計測後の終了軸を追加表示することができます。
- グラフの X 軸に補助線を表示する
→グラフの X 軸に補助線を追加表示することができます。
- グラフの X 軸の見出しに計測時間を表示する
→X 軸の見出しに計測時間を追加表示することができます。

※「軸色または文字色を選択する」より、色を変更可能です。

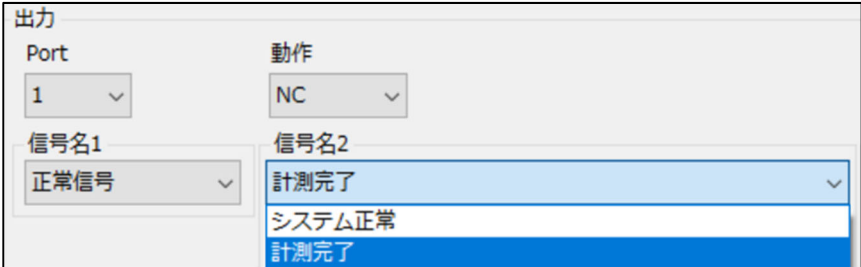
X 軸に補助線を表示



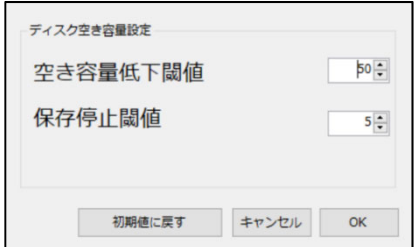
X 軸の見出しに計測時間を表示

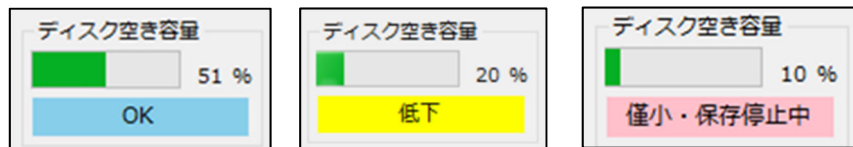
グラフ端に計測後の終了軸を表示

変更点.4 正常信号、計測完了信号を追加

従来	変更後
機器に異常が無い事を示す出力信号は実装されていませんでした。	「出力信号」に「正常信号」が追加され、「計測完了」、「システム正常」信号で異常が無い事を確認できるようになりました。
【詳細画面】 <div> 【選択可能項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・計測完了 ・システム正常 </div>	

変更点.5 ディスク空き容量設定を追加

従来	変更後
ディスク空き容量50%以下で「低下」表示し、10%以下で測定結果保存停止となる設定でした。	「システムメニュー」→「ディスク空き容量設定」より、任意の閾値を設定できるようになりました。
【注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・空き容量低下閾値以下で「低下」と表示、保存停止閾値以下で結果が保存されなくなります。 ・デフォルトでは空き容量低下閾値は50%、保存停止閾値は5%となります。 	



変更点.6 金型表面温度を使用した複数台オフセット値設定を修正

従来	変更後
樹脂温度センサ用オフセット値として、同一の MVS08 に接続された金型表面温度センサ実測値を利用できるはずが、2 台目以降の MVS08 では機能していませんでした。	2台目以降の MVS08 でも金型表面温度センサ実測値を樹脂温度センサ用オフセット値として利用できるよう修正しました。

変更点.7 センサ受圧面積 1 mm²以下の設定を修正

従来	変更後
圧力中継アンプ UPP01を使用して圧力計測した際、センサ受圧面積が 1 mm ² 以下の設定値の場合は 1 mm ² として計算される不具合がありました。	センサ受圧面積の最小値を 0.01 mm ² に変更し、1mm ² 以下の設定でも正しく計算されるよう修正しました。